



その時 あなたは どのように行動しますか



ご自宅の近くで、海拔表示看板などを見たことはありませんか。市は、日頃、生活している場所の海拔を表示することで、市民の皆さんの防災に対する意識の向上につながるものと考え、これまでに海拔表示看板を市内で海拔が低い地域にある電柱や施設約430カ所に設置しました。また、津波の恐れがある時に、市民や観光客の皆さんが速やかに高台避難場所へ避難することができるよう、津波浸水予測範囲内に高台避難誘導看板の設置も進めており、平成29年度には、新たに登別地区や中央地区、青葉地区、新生地区の4地区においても設置を予定しています。

津波が発生した時は、より早く、より高い場所へ逃げる必要があります。

海拔表示看板や 高台避難誘導看板などを見たことがありますか



日頃から防災を 意識する

普段から、高台避難誘導看板などを意識し、高台避難場所への経路を確認しておきましょう。

一人ひとりの意識が防災の基本

登別市は、海や山、川など自然豊かなまちである一方で、さまざまな災害がどこでも発生し得る地域であるともいえます。実際に、これまでも多くの災害が発生しました。特に、水害の多かった登別市では、古くから治水工事などの対策を行ってきましたが、自然災害の発生を完全に防ぐことは不可能です。

市は、発生した災害に対し、市民の皆さんの命を守ることを最優先として、被害を最小限にできるよう、防災資機材の整備や非常用食糧などの備蓄をしているほか、防災研修会などを通じて、市民の皆さんの防災意識の向上を図っています。

また、いざという時に協力して災害に対応できるよう、近隣市町や自衛隊、企業など、53の団体（平成29年8月現在）と協定を結ぶなど、防災に対する取り組みを進めています。

しかし、局所的な大雨や地震による津波など、大きな災害になればなるほど、市役所や協力団体に加え、

自主防災組織や市民の皆さん一人ひとりが自ら主体的に判断し、行動しなければなりません。

日本各地でこれまでに起こった災害は、多くの教訓を教えてくださいました。災害を知り、教訓を生かすことで今後発生する災害の被害を最小限にすることが出来ます。一人ひとりに防災意識が根付き、高まることで、自分自身や家族、そして地域の皆さんの命を守ることにつながり、「災害につよいまち」となります。

備えあれば憂いなし。災害は起こるものとして、その時に備えましょう。

平成29年度 総合防災訓練

市は、9月30日(土)に登別地区において、地震や津波の発生を想定した総合防災訓練を行います。会場での訓練はどなたでも参加できます。ぜひご家族で、訓練に参加してみませんか。

- ▶日時 平成29年9月30日(土)
- ▶会場 登別中学校グラウンド
- ▶内容 津波避難訓練と会場実動訓練の2部構成

・屋外スピーカーのサイレン吹鳴訓練



※登別地区をはじめ、市内の一部地域にあるスピーカーからサイレンを吹鳴します。

- ・緊急速報メール・エリアメールなどの配信テスト
※NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に自動的にメールが配信されます。



- ・応急復旧訓練、防災用品の展示、体験コーナー、備蓄品の配布、炊き出し訓練 など



◀平成25年に行った総合防災訓練

▶問い合わせ
総務グループ (☎011-130)